

## IV 平成25年度 福井市労働環境調査票

この調査は、福井市内事業所の労働条件等の実態を把握し、行政上の基礎資料とすることを目的とするものです。

調査票に記入された事項は、すべて統計的に処理し、他の目的に使用することは決してありません。

お手数をおかけいたしますが、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

なお、設問により算出が困難な箇所がある場合は、合計のみなど、可能な範囲でご記入いただきますようご協力をお願いいたします。

### ～ 記入上の注意事項 ～

〔調査対象〕 貴事業所に関することを記入してください。

市内に本社のほか営業所などが複数ある場合は、一括して記入してください。

〔調査時点〕 特に指定のない限り、平成25年7月31日現在の状況について記入してください。

〔回答方法〕 調査項目については、該当する項目を○で囲むか、必要事項を記入してください。

〔返送方法〕 同封の返信用封筒にて、平成25年9月30日(月)までに返送してください。

〔問合せ先〕 福井市 商工労働部 労政課 担当:大円(だいえん)・城地(じょうち)

TEL(0776)20-5321 FAX(0776)20-5323

貴社について、ご記入ください。

【事業所名】	【所在地】
--------	-------

問1 主な業種に該当するもの1つに○をつけてください。

1. 建設業	2. 製造業	3. 情報通信業	4. 運輸業
5. 卸売・小売業	6. 金融・保険業	7. 飲食・宿泊業	8. 医療・福祉業
9. 教育・学習支援業	10. サービス業	11. その他 ( )	

問2 雇用形態別労働者数について、男女別に記入してください。

雇用形態	正規従業員	非正規従業員					他企業からの 出向職員
	常用従業員 ※役員を除く	パートタイマー		嘱託 職員	契約 社員	派遣 職員	
		1日および1週の 所定労働時間(日 数)が常用従業員 と同じ者	1日または1週の 所定労働時間(日 数)が常用従業員 より短い者				
男性	人	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人	人

問3 正規従業員の年齢構成について、男女別に記入してください。(4月1日現在)

	10~20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人

問4 正規従業員の週休制について○で囲んでください。

1. 週休1日制      2. 週休1日半制      3. 完全週休2日制      4. 月3回週休2日制      5. 隔週週休2日制  
6. 月1回週休2日制      7. 変形休日制      8. 実施していない

問5 正規従業員の年次有給休暇の取得状況について、昨年1年間(把握しやすい期間でご記入ください)の1人当たりの平均取得日数を記入してください。

男性従業員	. 日/年
女性従業員	. 日/年
全 体	. 日/年

問6 パートタイマーの社会保険・労働保険の加入状況について記入してください。

健康保険	1. あり	2. なし
厚生年金	1. あり	2. なし
雇用保険	1. あり	2. なし
労災保険	1. あり	2. なし

問7 退職金制度について記入してください。

正規従業員	1. あり	2. なし
パートタイマー	1. あり	2. なし



問13 育児休業取得期間中に、休業者の担当していた業務を行うためにどのように対応していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 代替職員(アルバイト・パート等)を雇用 | 2. 派遣社員で対応   |
| 3. 係内で業務を分担            | 4. 部署内での配置換え |
| 5. 企業内での配置換え(異動)       | 6. その他( )    |

問14 社内での育児休業以外の支援制度の有無についてお伺いします。

平成24年度中の利用状況について、人数を記入してください。

	制度がない場合は○	導入予定がある場合は○	男性		女性	
			正規	パート	正規	パート
短時間勤務制度			人	人	人	人
フレックスタイム制			人	人	人	人
始業・終業時刻の 繰上げ・繰下げ			人	人	人	人
所定外労働の免除			人	人	人	人
事業所内託児施設			人	人	人	人
育児に要する費用の援助			人	人	人	人
1歳以上の子を対象とする 育児休業			人	人	人	人
その他 ( )			人	人	人	人

問15 正規従業員が育児休業取得後、職場復帰した場合の処遇について、該当するものに○をつけてください。

(1) 雇用形態	1. 基本的に変更なし 2. 本人の希望あればパート等へ変更あり 3. 慣例的にパート等へ変更 4. その他( )
(2) 配置	1. 基本的に変更なし(もとの職場へ復帰) 2. 本人の希望あれば配置換え 3. 育児休業中の部署の対応状況により、本人の希望と関係なく配置換え 4. その他( )

問16 貴事業所は、従業員にとって育児休業を取得しやすいと思いますか。

1. 取得しやすい (→ 問18へ)
2. 取得しづらい
3. 取得する必要のある従業員がいない

問17 問16で育児休業を「2. 取得しづらい」「3. 取得する必要のある従業員がいない」を選んだ方にお伺いします。

その理由に近いと思うものを4つまで選び、○をつけてください。

理 由	男性	女性
1. 上司に言いづらい		
2. 自分の業務を別の社員が代わりに行なうことが難しい		
3. 職場の同僚に対し、仕事の負担が増えることへの遠慮		
4. これまで育児休業を取得していない社員への遠慮		
5. 育児休業取得の実績が少ない、またはない		
6. 収入減となるため、経済的な面から働く必要がある		
7. 休業後に元の仕事に戻れるかという不安		
8. 休業後の昇進・キャリアへの影響の不安		
9. 産後休暇後は、短時間勤務や時差出勤等で対応でき、育児休業取得の必要がない		
10. 育児休業が取得できることを知らない従業員が多い		
11. 結婚・出産時に退職している		
12. 結婚・出産・育児期の従業員が少ない		
13. 女性の従業員が少ない		
14. 子どもの世話をしてくれる家族等がいる		
15. その他 ( )		



◆ ◆ 子の看護休暇について ◆ ◆

問23 就業規則等に子の看護休暇についての規定がありますか。

- 1. あり
- 2. 規定はないが慣例としてある
- 3. なし
- 4. 規定の予定あり

問24 問23で、「1. あり」の場合のみお答えください。従業員に周知していますか。

- 1. 男女従業員に周知している
- 2. 女性従業員にのみ周知している
- 3. 男性従業員にのみ周知している
- 4. 周知していない

◆ ◆ 介護休業について ◆ ◆

問25 就業規則等に介護休業についての規定がありますか。

- 1. あり
- 2. 規定はないが慣例としてある (→ 問28へ)
- 3. なし (→ 問29へ)
- 4. 規定の予定あり (→ 問29へ)

問26 問25で、「1. あり」の場合のみお答えください。従業員に周知していますか。

- 1. 男女従業員に周知している
- 2. 女性従業員にのみ周知している
- 3. 男性従業員にのみ周知している
- 4. 周知していない

問27 就業規則等で定める介護休業が利用できる期間について、該当する欄に○をつけてください。

	正規従業員	パートタイマー
通算93日まで(法定どおり)		
94日～6カ月まで		
6カ月～1年間		
1年以上		

問28 介護休業の利用状況についてお伺いします。

平成24年4月1日から平成25年3月31日の1年間に介護休業を開始した人数を記入してください。

	男性	女性
通算93日まで(法定どおり)	人	人
94日～6カ月まで	人	人
6カ月～1年間	人	人
1年以上	人	人

問29 介護休業以外の社内の支援制度として、どのような制度がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- |             |              |         |
|-------------|--------------|---------|
| 1. 時間短縮勤務   | 2. フレックスタイム制 | 3. 時差出勤 |
| 4. 所定外労働の免除 | 5. その他( )    | 6. なし   |

問30 「育児休業」・「子の看護休暇」・「介護休業」が、現在規定されていない場合のみお答えください。

「育児休業」・「子の看護休暇」・「介護休業」が労働者の権利として取得できることを、従業員に周知していますか。該当する欄に○をつけてください。

	育児休業	子の看護休暇	介護休業
1. 男女従業員に周知している			
2. 女性従業員にのみ周知している			
3. 男性従業員にのみ周知している			
4. 周知していない			

### ◆ ◆ 障害者雇用について ◆ ◆

問31 平成25年6月1日現在の雇用状況についてご記入ください。

勤務形態	身体障害者	知的障害者	精神障害者
フルタイム勤務	人	人	人
短時間勤務	人	人	人



問37 正規従業員の定年制度がある場合、定年の年齢をご記入下さい。(平成25年度現在)

歳
---

問38 60歳以降の従業員の「雇用形態」と「勤務形態」について、該当するものすべてに○をつけてください。

(1) 雇用形態	1. 正規雇用	2. パート	3. 嘱託
	4. アルバイト	5. その他( )	
(2) 勤務形態	1. フルタイム勤務	2. 短時間勤務	3. 隔日勤務
	4. その他( )		

問39 平成25年4月の高年齢者雇用安定法の改正により、若年者の採用への影響はありますか。

1. かなりある      2. 少しある      3. なし      4. まだ分からない

◆ ◆ 若年者の雇用について ◆ ◆

問40 平成22年4月から平成25年4月の新規学卒者の採用の人数についてご記入ください。新規学卒者は、卒業後3年以内の方としてください。

(例) 25年4月採用の新規学卒者 … 25年3月卒業者～23年3月卒業者

採用年	22年4月	23年4月	24年4月	25年4月
大学卒 (大学院卒含む)	人	人	人	人
短大卒	人	人	人	人
高校卒	人	人	人	人

問41 来年度(平成26年4月)の新規学卒者採用の予定はありますか。

1. ある (今年並み・今年より増やす予定・今年より減らす予定)  
 2. なし  
 3. 未定



## ◆ ◆ 男女共同参画について ◆ ◆

「男女共同参画」… 女性と男性が、互いに人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

問45 男女の差別をせずに募集・採用を行っていますか。

1. 差別はない (→ 問47へ)
2. 募集の段階で差別することがある
3. 採用の段階で差別することがある
4. その他 ( )

問46 問45で「2. 募集の段階」「3. 採用の段階」4. 「その他」で差別することがある方にお伺いします。その理由として該当するものすべてに○をつけてください。

1. 業務上、男性(女性)のほうが適した業務のため
2. 女性は転居を伴う転勤に応じることが難しいと思われるため
3. 男性(女性)の感性が生かせる業務のため
4. 男性(女性)がほとんどを占める部署での採用のため
5. 女性の場合、結婚・出産により退職してしまう心配があるため
6. その他 ( )

問47 事業所内で、女性あるいは男性のみの部署・仕事がありますか。

1. ある (※ある場合、その理由を記入してください)
2. ない

理由:

問48 男女共同参画の職場とするための取り組みについて、行っているものすべてに○をつけてください。

1. 職場内でワーク・ライフ・バランスに関する研修を行っている
2. 女性が少なかった職場や職種に女性を配置している
3. 女性の管理職を積極的に登用している
4. 性別により評価することがないよう、人事考課基準を定めている
5. 同じ職場での同質の業務については、男女の差なく同一賃金としている
6. 継続して就業できるよう配属・転勤等を考慮している
7. 仕事と家庭の両立ができるよう労働時間に配慮している
8. その他 ( )
9. 特にしていない

ワーク・ライフ・バランス＝仕事と生活の調和。働きながら家庭や地域生活などの私生活も充実させられるよう、職場や社会環境を整えること。

◆ ◆ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について ◆ ◆

問49 ワーク・ライフ・バランスを事業所で推進していくことについてどう考えますか。

1. 必要
2. どちらかといえば必要
3. あまり必要ではない
4. 必要ではない
5. 分からない

問50 ワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みについて、行っているものすべてに○をつけてください。

1. 経営者や従業員に対する研修を行っている
2. 仕事と育児や介護との両立支援制度を導入している
3. 事務所内で、両立支援制度を利用しやすい雰囲気を作る
4. 残業抑制策や短時間勤務制度、フレックスタイム制度などを導入している
5. 非正規従業員の処遇の改善を図っている
6. 年次有給休暇の取得を促進している
7. テレワーク(情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方)を取り入れている
8. その他( )

問51 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定していますか。

1. 計画策定済みである
2. 現在、計画を策定中
3. 計画の策定を検討している
4. 計画策定の予定はない
5. 次世代育成支援対策推進法を知らない
6. その他( )

問52 所定外労働の削減に向けて、取り組んでいるものすべてに○をつけてください。

1. 業務量・内容に見合った人員配置
2. 人材育成(特定の従業員しかできない業務をなくすため他の者の能力向上を図る)
3. 残業の事前申請の徹底
4. 変形労働時間制・フレックスタイム制の導入
5. 部署の管理者に対する研修・教育
6. ノー残業デーの実施
7. 業務が平準化するよう工夫
8. その他( )
9. 特になし

◆ ◆女性の管理職登用について◆ ◆

問53 役員・管理職の人数を記入してください。

※ 管理職には、企業の組織形態の各部署において、配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれている役職を含めてください。

		計	うち、女性の人数
役職名	常勤役員・事業主	人	人
	管理職	人	人

問54 事業所内での女性管理職の比率が「低い」と考えておられる方にお伺いします。その理由として考えられるものすべてに○をつけてください。

1. 出産後も働くための企業内の仕組みが整備されていない
2. 結婚や出産を期に退職する女性が多い
3. 保育園などの社会インフラが不足している
4. 上司や男性同僚の理解が不足している
5. 経営側に、女性管理職を増やするという意識がない
6. 女性が男性と同じように転勤や長時間労働等をするのは難しい
7. 管理職を目指そうという意欲のある女性社員が少ない
8. 「良妻賢母」、「男は仕事、女は家庭」といった家庭教育、社会風潮が根強い
9. 模範としたい女性管理職がない

問55 事業所内での女性管理職の比率が「高く」なってきたと考えおられる方にお伺いします。その理由として考えられるものすべてに○をつけてください。

1. 大卒の女性採用が増え、管理職候補となる女性の人材層が厚くなってきた
2. 会社の成長のためには、女性の活用が重要であるとの管理職の意識改革
3. " 社内での理解促進
4. 育児休業や短時間勤務制度など子育て期の支援制度の導入
5. 子育て期の支援制度を利用しやすい、企業風土
6. 女性社員にも積極的に教育・研修の機会を与える
7. 女性社員のモチベーションの向上

問56 従業員への教育・研修についてお伺いします。  
能力向上のため、男女ともに研修等の教育訓練の機会を設けていますか。

1. 男女に等しく能力向上の研修(講習)等を行なっている
2. 男性のみ又は、女性のための研修がある ※2の場合その理由を記入してください
3. 管理職のみを対象にした研修(講習)等を行なっている
4. まったく行なっていない

理由:

問57 貴事業所の正規従業員について、5段階評価のうちあてはまると思う番号を一つ選び○をつけてください。

	非常に そう思う	やや そう思う	どちら とも いえ ない	あまり 思わ ない	ま った く 思 わ な い
①将来管理職に就いて活躍してほしいと思 う女性従業員がいる	1	2	3	4	5
②管理職になることに意欲的な女性がい る	1	2	3	4	5
③現在の管理職において、女性に比べ男性 のほうが管理能力はある	1	2	3	4	5
④女性管理職に抵抗を感じる男性従業員が 多い	1	2	3	4	5
⑤女性従業員は、結婚・妊娠・出産を期に 退職する傾向がある	1	2	3	4	5
⑥女性従業員は仕事よりも家庭を優先する 傾向がある	1	2	3	4	5
⑦女性従業員と男性従業員では働くことに 対する意欲は変わらない	1	2	3	4	5
⑧女性従業員がいきいきと働いている	1	2	3	4	5
⑨男性従業員がいきいきと働いている	1	2	3	4	5

